

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

重要な会計方針は次のとおりである。

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

満期保有目的の有価証券…………… 購入時の取得価額によっている。(償却原価法については、取得価額と債券金額との差額について重要性に乏しいため、適用していない。)

その他の有価証券

時価のあるもの…………… 決算日の市場価額等に基づく時価法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
預金	3,000,000	0	0	3,000,000
投資有価証券	312,487,425	67,625,000	0	380,112,425
合計	315,487,425	67,625,000	0	383,112,425

3. 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充 当額)	(うち一般正味 財産からの充 当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
預金	3,000,000	(1,000,000)	(2,000,000)	-
投資有価証券	380,112,425	(0)	(380,112,425)	-
合計	383,112,425	(1,000,000)	(382,112,425)	-

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿原価	時価	評価損益
第332回利付国債(10年)	1,000,800	1,045,184	44,384
第60回利付国債(20年)	7,154,625	8,148,668	994,043
合計	8,155,425	9,193,852	1,038,427

平成29年3月31日